

「宇東差別解消宣言」

自分が加害者にならないために

- ① 知らず知らずのうちの差別をなくすために、正しい知識を身に付ける。
- ② 相手も大切だということを再認識するために、まず自分の価値を再確認する。
- ③ ストレスを絶対に加害へ向けないために、ストレスの正しい発散を習慣づける。

自分が被害者の方へできること

- ④ 相手に言われたくないこと、相手にされたくないことを知るために、正しい知識を身に付ける。

- ⑤ 直接的な「大丈夫？」という声かけでなくても、まずあいさつからでも始める。
- ⑥ いつでも「助け」になれるように、相手にとって自分が信頼できる人になる。

もし自分の周りで差別に遭遇したら、

差別を止めるために

- ⑦ 行われていることが差別だと見逃さないために、正しい知識を身に付ける。
- ⑧ みんながしないから自分もやらないではなく、まず自分が一人でも行動する。
一人が不安な場合は相談して人を誘って行動する。
- ⑨ 見て見ぬふりなどの無関心は加害者と同じなので、常にアンテナを張っておく。

今年度はこの宣言を基にし、毎月学年ごとに実際に行う目標を担当クラスが設定しますので、皆さんで実践していきましょう！！

昨年度、人権委員会が提案し、文化祭での意見や「Hidamari」の感想を通じて改良され、生徒総会にて承認を受けた宇和島東高校独自の人権宣言です。